



# 校友会会報

第14号

2008年1月1日

編集・発行

酪農学園大学同窓会  
校友会会報編集委員会  
〒069-8501 江別市文京台緑町582  
同窓生会館内

☎ (011) 386-1196

FAX (011) 386-5987

HP: [http://dousoukaikouyukai.](http://dousoukaikouyukai.web.infoseek.co.jp)

web.infoseek.co.jp

E-mail: [rg-kouyu@rakuno.ac.jp](mailto:rg-kouyu@rakuno.ac.jp)

## 校友会会長の就任のご挨拶



同窓会校友会会長  
野村 武

校友会会員の皆様方に就任のご挨拶を申し上げます。

私はこの度、5月25日の理事会、代議員会において会長に選任されました獣医学科1期生の野村であります。校友会は1989年に酪農学科、農業経済学科、獣医学科の3学科が共に手を携え、会員の親睦強化を図るため結成されました。

初代の石田貞夫会長は創設者、黒澤西蔵先生の建学精神の「三愛精神」「健土健民」を活動の支柱とし、校友会を永年に亘り強いリーダーシップにより導いて来られました。この功績に対して深く敬意を評するものであります。

本会は1964年に酪農学科一期生が卒業して以来、現在では学部、学科において3学部7学科に増設され、毎年約900名の学生が卒業しており、校友会の会員数は23,000人に達する大きな同窓会に成長して来ております。

本会活動の中心であります校友会会報が1994年に創刊され、その後、理事長、学長、学科長、各同窓会会長、同窓生など多くの方々からの記事が掲載され13号を刊行しており、学園、同窓生の情報、交流の場としての役割を果たしてきております。又、2004年に工藤 英一事務局長が卒業生は広く各分野で活躍しており、その相互連携を強化する為にホームページを開設し、その後、本会活動の情報メディアとして多くの会員に活用されております。

現在、本会は野英二事務局長を中心として平成19年度事業を実施しておりますが、特にホームカミングデーの開催にあたり各同窓会の同期会の開催が企画され、各関係団体の協力体制の確立など多くの参加者が集う大きなイベントを目指し努力しております。

終わりにあたり、会報創刊号の編集記において安藤事務局長が「学園運営に校友会が果たすべき役割と責任の深さを感じるものであり、建学の精神を継承実践し混迷する世に光の指針を示すのが卒業生諸君の社会的使命である。温故知新、先人の苦労をバネとして・・・」と述べている事は今日の校友会の在るべき姿ではないかと会長として再認識した次第であります。

酪農学園の発展と校友会の皆様方のご多幸を心よりお祈り致します。

## 酪農学園の原点を求めて



酪農学園大学・短期大学部学長  
谷山 弘行

酪農学園大学同窓会校友会の皆様、この4月に学長に就任しました。卒業生としては初めての学長で10代目の学長となります。卒業学科は酪農学部獣医学科（10期生）です。獣医病理学教授として、3月まで獣医学部長職を務めていました。

ご承知の通り、大学を取りまく環境は10年前とは比較にならないほど厳しいものになっています。世界を覆い尽くす米国化の波と、これに引きずられて動く文部科学省の朝令暮改的政策の乱発、教育界の混乱、受験生人口の激減が、わが国の大学の経営を揺さぶっています。今や、変化しない大学は消滅すると言われ、さらには改革を断行する大学であっても原点を見失った大学は、もはや大学であることを放棄するか、いずれ消滅の道を歩む。繁栄を勝ち取るのは原点を見失わず、改革を成し遂げた大学のみであると言われております。

酪農学園も例外ではありません。わが学園にとって、さらなる問題は貧困な農業政策よって農業が危機的状況にあることとあります。食糧自給率40%以下という数字は、わが国の農業の崩壊を暗示しています。食への関心は高まっているのに、自国の農業危機についての世の関心はいっこうに高まりません。それを反映してか、農業の担い手が減少の一途を辿っています。しかし、田中正造翁の教えにあるように、農業なくして国家は成り立ちません。農業の再興が求められる時代が必ずやって来ます。我々、酪農学園に奉職する者はもう一度、学園創立の原点に立ち返り、教育機関として真の教育とは何であるかを問い返す必要があります。田中正造翁に学んだ黒澤西蔵先生が立ち上げたこの教育機関が、なぜ酪農学園であったのか、三愛精神、健土健民をなぜ建学の精神としたのか、循環農法や有機農法といった言葉で説く農業とは何なのか。この取組みは建学の精神の現代への翻訳であると理解すべきであります。復古という意味ではありません。大学教育に携わる者としてこの原点を見失うことなく、現代社会が求めるあるいは未来へと繋がる理念の、教育を通じた具現化に取り組むこととあります。幸いにして、わが学園には74年の歴史の中で積み上げてきたものがあります。これをもう一度brush upして、未来への羅針盤とするとともに、モデルなき時代といわれる中での学園独自の理想像(grand design)を構築して行きたいと思っております。今後とも学園の発展のためのご助言を賜りますようお願い申し上げます。

## 校友会単位同窓会活動報告

### 酪農学部

#### 酪農学科

酪農学科同窓会事務局長  
野 英二

昨年度に続きホームカミングデーに併せて卒業周年記念同期会を開催しました。ホームカミングデーは卒業生が母校に帰り、親睦を図ることを目的としていますが、毎年同窓生の参加が少ない状態でした。そこで、昨年から同窓生が母校に戻るきっかけとなることを期待し、ホームカミングデーの記念礼拝・記念講演および卒業周年記念同期会懇親会の開催を企画しました。懇親会には酪農学科卒業30・20・10周年、農業経済学科卒業30・20・10周年および食品科学科10周年の合同で開催されました。酪農学科の参加者は30周年（1978年卒）12名、20周年（1988年卒）6名、10周年（1998年卒）8名でした。現・旧教職員は13名でした。次年度以降もこのような企画を催したいと思っておりますので多くの卒業生の参加を期待しております。

卒業周年記念同期会として一成会（酪農学科1期生）も同日に開催されました。クラス会等の開催があれば事前に事務局までご一報下されれば幸いです。

本年度もキャンパス内風景の絵ハガキを作成しました（3枚組）。同窓会が大学や学生とのパイプを強固にする目的として、酪農学科同窓会で作成しました。絵ハガキは、大学酪農学科と短大酪農学科の新生と記念同期会出席者に配布しました。ご希望の方はご一報下さい。

#### 食品科学科

食品科学科同窓会事務局長  
岩崎 智仁

今年度、食品科学科同窓会は、例年通り同窓生の住所録管理、卒業記念パーティー開催への補助および学位記の桐箱等の贈呈を行いました。また、5月26日には、ご退職された安藤功一名誉教授の最終講義と退職記念パーティーの開催にあたり、わずかではありますが後援をさせていただきました。

ホームカミングデーに合わせて開催した学部合同卒業周年同期会には、卒業10周年の同窓生（98年卒7期）12名、塩見徳夫教授、菊地政則教授が参加しました。

今後も食品科学科の同窓会活動にご理解とご協力頂けますようお願い申し上げます。



安藤功一名誉教授の最終講義

#### 農業経済学科

農業経済学科同窓会事務局長  
佐々 秀和

2007年1月19日に中標津町のホテルマルエー温泉にて第20回現地研究会を開催しました。農業経済学科荒木和秋教授を講師に招き、「飼料高騰下の営農システムの革新」という題目で勉強会および懇親会を開催いたしました。OB含め総勢8名の参加でした。

3月14日には卒業式が執り行われ、農業経済学科としては第43期の卒業生を送り出しました。その夜には、卒業を祝して農業経済学科同窓会主催の卒業記念祝賀会を札幌ガーデンパレスにて開催いたしました。OBおよび教職員を含め約100名の参加となり、同窓会員になられた卒業生に対し、シヤチハタ付ボールペンを記念品として贈呈しました。

学科恒例の「農業経済学科長杯争奪スポーツ大会」が開催され（6月2日）、3年生4年生合わせて約50名が参加いたしました。農業経済学科同窓会からは恒例となっております図書カードを入賞チームに贈呈いたしました。

農業経済学科同窓会では、この他に同窓会会報の発行や各年代で開催されます同窓会の支援等を中心に活動しております。



農業経済学科長杯争奪スポーツ大会

#### 食品流通学科

食品流通学科同窓会事務局長  
西田 智

食品流通学科同窓会の2006年度の活動としましては、2007年3月に卒業生（第10期生）への卒業パーティー支援という形でお手伝いさせて頂きました。

内容としましては毎年のごことではありますが、卒業生への記念品と学位記の筒を贈呈し、3月14日に札幌のセンチュリーロイヤルホテルでおこなわれた卒業パーティーにて、学生の会費の補助やビンゴゲームでの景品の補助をおこないました。

卒業した皆様は卒業してしまうと大学に来る機会がほとんどなくなってしまうと思いますが、たまに大学へ遊びに来てはいかがでしょう？我々が学んだ「食流館」もここ2～3年でエレベーターができたり、店舗実習室ができたりと大きく変化しました。大学自体も様々な建物が建てられたりしていますので、ちょっと12号線を通ったついでに寄って見てください。

ただ見るだけでも、懐かしく思え、お世話になった先生や同期の友人と会いたいという気持ちがでて、久々に皆で集まりたいなどの声が徐々に集まれば、同期会なども開催できますし、同窓会としてもご協力させていただきますので、今後も同窓会活動にご理解・ご協力頂けますようお願いいたします。

## 獣医学部

### ■獣医学科

獣医学科同窓会事務局長

加藤 清雄

獣医学科同窓会における今年最大のトピックスは、会長が交代したということです。第1期卒業の野村武前会長から第4期卒業の北村直人新会長に交代いたしました。どんな組織でも一定期間ごとの会長の交代は当然のことですので、会長が交代することが最大のトピックスであることは不思議に思われるかも知れません。しかし、通常の組織ではある程度の年齢の方がリーダーとしての役割を担いますが、同窓会は必然的に1期生が設立から確立、そして発展へとその責務を担う運命にあります。野村武前会長は、卒業後間もない若さでこの責務を担い、1期生が定年を迎えるまでの37年間にわたり、獣医学科の同窓会を高い評価を得るまでに導いてくれました。本来なら、これからが同窓会の会長として適任な年齢ですが、若いときから会長職を担い職責を十分果たした満足感を持ってこのたびの勇退とられたようです。本当に長い間ご苦労様でした。

獣医学科同窓会会長賞である「三愛賞」は、顕著な功績を挙げた同窓生に授与される同窓生の部と、学生時代の諸活動を通して同期の仲間から評価された個人や団体に授与される卒業生の部（当該年度卒業生）から成ります。第2回同窓生の部は第6期卒の辨野義己氏が、腸内細菌およびその分類に関する研究において顕著な業績を挙げ、この分野における世界の第一人者として活躍し、研究成果を通して人や動物の健康維持に貢献し本同窓会の名声を高めたことが評価され受賞されました。テレビ出演も多くご存知の方も多いことと思います。第2回卒業生の部は、サッカーを愛するサークルとして強い団結力を示し、獣医杯サッカー大会を通して教員や学年を超えた学生間の交流を促進し学友の誇りとなるサークルであったことが評価され、サッカーサークル・Lantikiが受賞されました。このサークルは卒業旅行でグアムを訪れ、グアム代表との対戦を果たし、このことが北海道新聞にも掲載されました。卒業生の部の表彰は学部の卒業式（学位授与式）において行われました。同窓生の部の表彰式は10月5日午後1時より学生ホールにおいて執り行われ、引き続き受賞記念講演を行っていただきました。

獣医学科同窓会では卒業生への記念品をしばらくぶりで変更いたしました。設立当初はペナントでしたが、その後長い間大理石製のペーパーウェイトを贈っておりまして、時代の移り変わりとともにあまり好評ではなくなり、ガラス工芸家による手作りのガラスにしました。黒い斑点模様がデザインされているガラスで、牛乳を注ぐとホルスタイン模様になります。このガラスで牛乳を飲むたびに、母校を思い出していただきたいものです。

獣医学科同窓会は、北村直人新会長の下、母校の発展に貢献できる同窓会としてますます充実、発展を期したいと思います。



## 環境システム学部

### ■経営環境学科

経営環境学科同窓会事務局長

永田 真弓

1. 卒業生への贈呈
  - 1) 角筒
  - 2) 卒業記念品としてマグカップ・フォトフレーム
  - 3) 集合写真を撮影しその後の祝賀パーティにて配布。（欠席者には後日郵送にて配布）
2. 祝賀パーティ（アークシティホテル）
  - ・祝賀パーティの会費補助1人3,000円
3. 学科教員への記念品
  - コーヒーセット（カップ・コーヒー）
4. 学科への記念品
  - 絵画（中央館8F 小会議室）



同窓生からの記念品（中央館8F 小会議室）

### ■地域環境学科

地域環境学科同窓会事務局長

吉田 陽平

1. 卒業生への贈呈
  - 1) 卒業証書を入れる桐箱
  - 2) 卒業記念品としてエコバック、フェアトレードの風呂敷
  - 3) 卒業記念写真
2. 祝賀パーティー（ホテルニューオータニ札幌）
  - 1) 祝賀パーティー会費補助（前売券購入者5,000円、当日3,000円）
  - 2) 祝賀パーティー経費補助（景品代、パンフレット・前売券作成費）
3. 学科会報作成
4. 課題

活動がほぼ卒業時の補助のみになってしまっているため、数年後に迎える地域環境学科同窓会発足10周年に向けて、行事等の活動を増やしていきたいと考えています。

環境システム学部の経営環境と地域環境学科同窓会の設立は2001年度（2002年3月卒）で、同窓生数は経営環境が771名、地域環境が863名です。環境システム学部は2004年に学部内改組があり、現在は地域環境、地域マネジメントおよび生命環境の3学科で構成されています。各学科の同窓会は若く、また、2009年3月に1期生が卒業する学科もあります。今後の同窓会活動を期待するとともに校友会もバックアップしていかなければならないと思っています。（E. N）

## ホームカミングデー開催報告

2007年9月15日(土)に恒例のホームカミングデー(第16回)が開催されました。記念礼拝は、高橋 一大学・短大宗教主任の司式で「窮乏の底に沈める国はいずこに」と題し奨励を行いました。記念講演は、鈴木 洋一氏による「酪農学園の教えを基礎に私が歩んだ40年」と題し記念講演を行いました。鈴木氏は機農高校第17期生で土幌町において先進的な酪農業を営んでいます。参加者は卒業生・旧職員70名、現職員39名でした。なお、記念講演の内容は冊子にまとめる予定です。

次回(2008年度)のホームカミングデーは、2008年9月13日(土)13時より黒澤記念講堂で記念礼拝・記念講演、茶話会、見学会を予定しております。ホームカミングデーは、酪農学園、同窓会連合会、後援会、貴農同志会(酪農学園旧教職員の会)、大学同窓会校友会が共催しています。

ホームカミングデーに合わせて同期会等を計画していただき、母校を訪ねていただければ幸いです。皆様の参加をお待ちしております。



黒澤記念講堂前での参加者達

## 2007年度酪農学園大学同窓会校友会理事会・代議員会報告

5月25日(金)新札幌アーキシティホテルにて2007年度同窓会校友会理事・代議員会が開催された。(出席者18名、委任状36名)野村副会長を議長に選出し、下記の議案について慎重に審議し承認された。

第1号議案：2006年度事業報告、収支決算について

第2号議案：2007年度事業計画、予算について

第3号議案：役員改選について

新役員については下記のとおりである。

### ・2007年度校友会役員

会 長 野村 武(獣医1)

副 会 長 澤田 憲宏(農経4)、上村 篤正(食科1)

事務局 長 野 英二(酪農11)、他理事、代議員、監事

### ・2007年度各学科同窓会事務局長

酪農学科 野 英二 農業経済学科 佐々 秀和

獣医学科 加藤 清雄 食品科学科 岩崎 智仁

食品流通学科 西田 智 地域環境学科 吉田 陽平

経営環境学科 永田 真弓

校友会会則での正会員は大学卒業生および大学院修了生となっておりますが、各学科の同窓会会則では大学卒業生のみを会員としています。この点について、整合させるように進めています。同窓会活動に対して多くの方からのご意見とご協力を切望しております。(E、N)

## 会計報告

収 入 (単位：円)

項 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
前年度繰越金	9,894,232	10,177,203	
分 担 金	2,715,000	2,700,000	900名×3000円
利 息	3,544	10,000	
助 成 金	15,000	10,000	
ホームカミングデー助成金	212,500	200,000	学園・関係団体より
雑 収 入	66,000	40,000	
合 計	12,906,276	13,137,203	

## 支 出

項 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
会 議 費	108,832	100,000	理事・代議員会他
連 合 同 窓 会	640,200	640,200	負担金
在 学 生 関 係	100,000	100,000	白樺祭支援
会 報 関 係	207,900	250,000	
ホームカミングデー費	270,358	250,000	
シリーズ小冊子	0	200,000	第4、5号
コンピューター費	12,495	100,000	
人 件 費	1,172,996	1,200,000	事務局長手当含
通 信 費	33,599	50,000	
旅 費 交 通 費	49,140	50,000	
慶 弔 費	2,984	50,000	
事 務 用 品 費	69,227	70,000	
消 耗 品 費	28,302	30,000	
雑 費	33,040	30,000	
小 計	2,729,073	3,120,200	
次年度繰越金	10,177,203	10,017,003	
合 計	12,906,276	13,137,203	

## 事務局だより

縦に長い日本全国に散らばっている同窓生の皆様はどのような新年をお迎えでしょうか。北国では灯油価格の高騰で外気はもちろん懐も寒〜い新年です。まだこれから冬本番だというのに春を待ちわびるのは歳を取ったせいばかりではないと一つ言い訳が見つかりました。

引越し等で連絡先を変更された場合は同窓会事務局までご連絡いただくか、同窓会へE-mailでお知らせください。(S、K)

## 同窓生会館事務担当者

同窓会校友会事務局 長 野 英二  
事務担当 斎藤 公美  
同窓会連合会事務局 長 新谷 良一  
事務担当 本間可奈子

Tel : 011-386-1196 Fax : 011-386-5987

E-mail : rg-kouyu@rakuno.ac.jp